



PHILIP MORRIS JAPAN

## PMJ農業未来プロジェクトにおける官民連携とインパクト創出

2025年4月21日

フィリップ モリス ジャパン合同会社  
エクスターナル アフェアーズ

## 2. フィリップ モリス ジャパン (PMJ) について

- 私たちのビジョン：「煙のない社会」の実現

- 紙巻たばこからの切替えを望む日本の成人喫煙者のために、より良い選択肢を提供

- 日本における事業展開

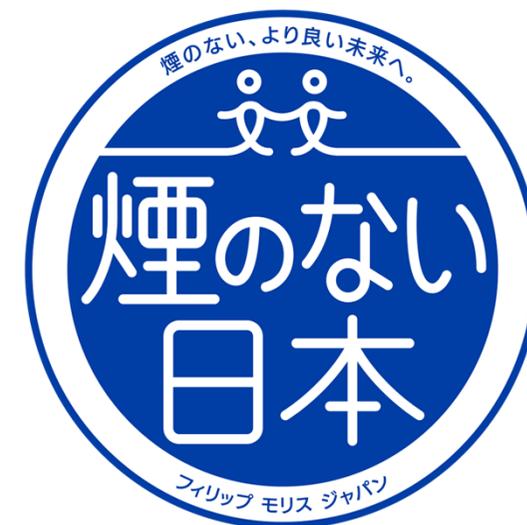
- フィリップ モリス インターナショナル (PMI) の日本法人
- 加熱式たばこ「IQOS (アイコス)」をはじめとする煙の出ない製品の普及を推進

- イノベーションへの注力

- 科学的根拠に基づき、リスク低減の可能性のある製品 (RRPs) ※ の開発・実証・市販化に注力
- ※ RRPs: Reduced-Risk Products

- サステナビリティへのコミットメント

- 事業戦略の中核にサステナビリティを据え、環境・社会課題への貢献を目指す
- 責任ある事業活動を通じて、社会との共存共栄を図る



### 3. なぜPMJが農業支援に取り組むのか？

- **原点：災害復興支援から始まった地域との繋がり**
  - 東日本大震災後の支援（2013年～ 岩手）、熊本地震（2016年～）、熊本豪雨（2020年～）等
  - 被災地に寄り添い、継続的な関係構築を目指す
- **対話から見えた新たな課題：地域の基幹産業「農業」の現状**
  - 就農人口の減少・高齢化、資材価格の高騰 etc.
- **決意：農業分野での課題解決への貢献**
  - 地域との関係深化と、持続可能な発展への貢献を目指し「農業未来プロジェクト」を開始

フィリップ モリス ジャパンと一般社団法人RCF、  
「いわて農業未来プロジェクト」を発表  
2年にわたり、岩手県内の農家支援へ

地域農業のさらなる支援のため、短期および中長期的な人材確保モデルの構築やウェブサイトやSNSを介したデジタルでの情報発信、農家同士をつなげるネットワーキング事業等の施策に約5,000万～7,000万円規模\*の支援を通じて、農業の未来のさらなる発展に向けてともに活動する予定です。

(\*実際の支援内容により変動)



## 4. PMJの農業支援モデル：「共創」による課題解決

